



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 沢井製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門担当 (氏名) 小玉 稔

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,254	6.8	12,467	11.4	12,620	22.2	7,718	26.5
23年3月期第3四半期	48,008	26.2	11,192	62.7	10,326	52.0	6,099	52.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,515百万円 (39.1%) 23年3月期第3四半期 5,401百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	487.96	402.57
23年3月期第3四半期	387.65	356.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	120,380	56,417	46.8
23年3月期	117,056	50,863	43.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 56,326百万円 23年3月期 50,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	40.00	—	70.00	110.00
24年3月期	—	60.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	8.1	14,500	6.7	14,400	13.4	8,300	15.5	524.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	15,828,300 株	23年3月期	15,807,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	712 株	23年3月期	712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	15,818,425 株	23年3月期3Q	15,734,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・決算補足説明資料は2月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月～12月）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から回復しつつあるものの、10月に史上最高値を更新した円高の進行や欧州政府債務危機による世界経済の減速などにより、景気の持ち直しは穏やかな状況で推移しました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、ジェネリック医薬品メーカーの買収や統合再編のほか、国内外新薬メーカーによるジェネリック医薬品のラインナップが強化されるなど、競争環境の厳しさが増しました。また、加算点数等の具体的な内容は定まっていないものの「後発医薬品の使用促進のための環境整備の骨子」が中央社会保険医療協議会（中医協）にて了承され、引き続きジェネリック医薬品使用促進の方針が示されました。一方で、従来に比して厳しい薬価算定方式を含む「平成24年度薬価制度改革の骨子」が了承され、更にはジェネリック医薬品の使用が政府目標に達していないことを踏まえ、特例的措置として長期収載品のみならずジェネリック医薬品の薬価も引き下げられることになるなど、ジェネリック医薬品業界にも少なからず厳しい制度改革となりました。

このような状況下、当社は11月に12成分25品目の新製品を発売し、卸・販売会社と協働して処方元への営業に努めました。新製品の中でもとりわけ品質面や医療過誤防止のための製剤工夫等を行い重点的に営業活動に取り組んだHMG-CoA還元酵素阻害剤アトルバスタチン錠の売上は、参入メーカー数が比較的少なかったこともあり、好調な出足となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は51,254百万円（前年同期比6.8%増）となり、利益面では、原価率の改善や販売費及び一般管理費のコントロールにより、営業利益は12,467百万円（前年同期比11.4%増）となりました。また、前期に計上した806百万円の社債発行費が今期は無いこと等もあり、経常利益は12,620百万円（前年同期比22.2%増）、四半期純利益は7,718百万円（前年同期比26.5%増）と大幅に増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は78,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,454百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が4,011百万円、受取手形及び売掛金が3,611百万円増加したことと、現金及び預金が5,986百万円減少したことによるものであります。固定資産は41,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,869百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が1,371百万円、無形固定資産が731百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、120,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,323百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は25,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ412百万円減少いたしました。これは主に、未払金が1,758百万円、未払法人税等が720百万円が減少したことと、短期借入金が1,613百万円、支払手形及び買掛金が675百万円増加したことによるものであります。固定負債は38,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,817百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が1,958百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、63,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,230百万円減少いたしました。

た。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は56,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,554百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益7,718百万円と、剰余金の配当2,055百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末は43.4%）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

中医協で了承された「後発医薬品の使用促進のための環境整備の骨子」に沿った具体的なジェネリック医薬品使用促進策の内容が固まるにつれ、当該促進策に対応すべく医療機関におけるジェネリック医薬品採用の動きが活発になることが見込まれます。一方で、4月の薬価改定を考慮した医療機関の買い控えも予想されます。

当社は、これらの状況を注視し、過去の制度改革前の動きを分析して安定供給と効率性の両立を図る生産体制で臨むとともに、引き続き「なによりも患者さんのために」当社製品に関する情報提供活動に努め、ジェネリック医薬品の使用拡大を推進してまいります。

平成24年3月期の連結の業績見直しにつきましては、平成23年11月10日に修正したの連結業績予想である売上高690億円、営業利益145億円、経常利益144億円、当期純利益83億円を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、356円68銭であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,805	24,818
受取手形及び売掛金	23,284	26,895
商品及び製品	11,593	13,384
仕掛品	4,157	4,698
原材料及び貯蔵品	5,466	7,145
繰延税金資産	1,811	1,502
その他	397	526
貸倒引当金	△21	△22
流動資産合計	77,494	78,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,278	18,259
機械装置及び運搬具（純額）	7,108	6,346
土地	4,949	4,955
リース資産（純額）	14	10
建設仮勘定	494	2,617
その他（純額）	1,471	1,498
有形固定資産合計	32,316	33,688
無形固定資産		
のれん	65	53
その他	1,083	1,826
無形固定資産合計	1,148	1,880
投資その他の資産		
投資有価証券	5,702	5,493
長期貸付金	17	8
長期前払費用	60	48
その他	379	350
貸倒引当金	△64	△40
投資その他の資産合計	6,096	5,861
固定資産合計	39,561	41,430
資産合計	117,056	120,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,849	10,525
短期借入金	2,659	4,273
リース債務	7	6
未払金	7,734	5,975
未払法人税等	3,143	2,422
賞与引当金	1,086	439
役員賞与引当金	60	25
返品調整引当金	125	89
売上割戻引当金	792	999
その他	352	640
流動負債合計	25,810	25,397
固定負債		
新株予約権付社債	30,662	30,550
長期借入金	8,161	6,202
リース債務	10	6
退職給付引当金	90	93
役員退職慰労引当金	339	402
繰延税金負債	166	135
負ののれん	12	4
その他	938	1,169
固定負債合計	40,382	38,564
負債合計	66,192	63,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,814	11,874
資本剰余金	12,137	12,198
利益剰余金	26,687	32,349
自己株式	△3	△3
株主資本合計	50,635	56,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	△93
その他の包括利益累計額合計	110	△93
新株予約権	108	82
少数株主持分	9	9
純資産合計	50,863	56,417
負債純資産合計	117,056	120,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	48,008	51,254
売上原価	25,184	25,607
売上総利益	22,823	25,647
販売費及び一般管理費	11,631	13,179
営業利益	11,192	12,467
営業外収益		
受取利息	50	114
受取配当金	50	177
受取補償金	13	7
貸倒引当金戻入額	4	2
その他	45	35
営業外収益合計	165	337
営業外費用		
支払利息	167	126
社債発行費	806	—
その他	58	58
営業外費用合計	1,032	184
経常利益	10,326	12,620
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	64	13
特別損失合計	64	13
税金等調整前四半期純利益	10,262	12,606
法人税、住民税及び事業税	3,601	4,603
法人税等調整額	420	284
法人税等合計	4,022	4,888
少数株主損益調整前四半期純利益	6,240	7,718
少数株主利益又は少数株主損失(△)	141	△0
四半期純利益	6,099	7,718

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,240	7,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△839	△203
その他の包括利益合計	△839	△203
四半期包括利益	5,401	7,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,260	7,515
少数株主に係る四半期包括利益	141	△0

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）重要な後発事象

（重要な吸収分割）

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

当社は、平成24年1月27日開催の取締役会において、平成24年4月1日を効力発生日（予定）として、当社の100%子会社であるメディサ新薬株式会社（以下、「メディサ新薬」という。）から同社の生産事業を吸収分割により承継することを決議いたしました。

①当該吸収分割の目的

政府は、増大する医療費の抑制を図るため、2013年3月末までにジェネリック医薬品の数量シェア30%の目標を掲げ、ジェネリック医薬品の更なる使用促進を図っています。このような状況の下、今後さらに高まるジェネリック医薬品の需要に対応するべく、より一層の安定供給体制の構築を図るとともに、生産効率の向上を目指していく必要があるため、化研生薬株式会社八郷工場を除き、沢井製薬グループの生産工場を全て集約すべく組織再編成を行う必要があると判断するに至りました。その一環として、メディサ新薬の生産事業に関する権利義務を、当社に承継させる無対価吸収分割を実施するものであります。

②当該吸収分割の方法、吸収分割に係る割当ての内容その他吸収分割契約の内容

[1]吸収分割の方法

当該吸収分割は、メディサ新薬を分割会社として、当社を分割承継会社とする吸収分割であります。

[2]吸収分割に係る割当ての内容

当社は、メディサ新薬の発行済株式の全てを所有しているため、当該吸収分割に際して、株式の割当てその他の対価の交付は一切行いません。

[3]当該吸収分割契約に係る日程

平成24年1月27日	吸収分割契約承認取締役会
平成24年1月27日	吸収分割契約締結
平成24年4月1日（予定）	吸収分割予定日（効力発生日）

なお、当該吸収分割は、当社においては会社法第796条第3項の規定による簡易吸収分割に該当することから、当社の株主総会の決議を経ずに行う予定です。

③当該吸収分割の相手会社についての事項

[1]商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	メディサ新薬株式会社
本店の所在地	大阪府大阪市淀川区宮原5丁目2番27号
代表者の氏名	代表取締役社長 岩佐 孝
資本金の額	913百万円
純資産の額	5,905百万円
総資産の額	12,082百万円
事業の内容	医薬品の製造・販売並びに輸出入、健康食品の製造並びに販売、化粧品の製造並びに販売、化学工業薬品（毒劇物を含む）度量衡器の販売、薬局の経営及び出版業、不動産の売買・賃貸借並びに管理、及びこれらに関連する一切の事業

[2]直前事業年度の経営成績

名称	沢井製薬株式会社 (承継会社)	メディサ新薬株式会社 (分割会社)
事業年度	平成23年3月期 (連結)	平成23年3月期 (単体)
売上高 (百万円)	63,853	12,800
営業利益 (百万円)	13,586	1,545
経常利益 (百万円)	12,703	1,567
当期純利益 (百万円)	7,183	939

[3]大株主の氏名または名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

大株主の氏名または名称	発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合
沢井製薬株式会社	100.00%

[4]提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	分割会社は承継会社の100%出資の子会社
人的関係	承継会社の役員が分割会社の役員を兼務、また承継会社は分割会社に役員を派遣
取引関係	両社間で製品・半製品の売買及び加工賃取引があり、分割会社は承継会社の特定子会社に該当

④吸収分割に係る割当ての内容の算定根拠

該当事項はありません。

⑤当該吸収分割後の吸収分割承継会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	沢井製薬株式会社
本店の所在地	大阪府大阪市淀川区宮原5丁目2番30号
代表者の氏名	代表取締役社長 澤井 光郎
資本金の額	11,814百万円(平成23年3月31日現在)
純資産の額	未定
総資産の額	未定
事業の内容	医薬品の製造・販売並びに輸出入、医療補助品の製造並びに販売、食品の製造並びに販売、化粧品の製造並びに販売、化学工業薬品(毒劇物を含む)度量衡の販売、薬局開設及び出版業、不動産の売買・賃貸借並びに管理、及びこれらに関連する一切の事業